

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	公園・緑地管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内公園、緑地、街路の維持管理業務等を指定管理者並びに業者に委託する。	管理業務を直営で実施するよりも安価で効率的に実施できるため、費用対効果の向上を図ることができる。また、指定管理については、民間のノウハウを活用することで利用者サービスの向上を図ることができる。	公園及び緑地について清掃、草刈り、剪定、消毒、施設の受付等の維持管理及び運営業務を委託する。街路については、街路樹の剪定を委託する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
		管理委託件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
		15	15	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,952,000	1,471,064	財源(割内訳)	国庫支出金		
	役務費	4,598,000	3,725,239		県支出金		
	委託料	90,695,000	91,478,788		地方債		
	その他	244,000	111,050		その他	1,524,000	1,094,637
合計	97,489,000	96,786,141	一般財源		95,965,000	95,691,504	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.5	2,965,000	97,489,000 96,786,141			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
樹木剪定作業等について繁忙期に作業が追いついていない。また、未剪定路線がある。	指定管理者と作業受注者とのスケジュール管理を確実に行う。未剪定路線については、予算の確保に努める。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
事業名	緑地・公園維持管理事業(修繕料)					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内都市公園の開設数は64箇所あるが、多くの公園で施設等が老朽化しているため修繕が必要である。	市民が安全かつ快適に公園を利用することができる。	公園施設(遊具、電気施設、給排水施設、フェンス等)の点検補修。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
定期点検回数(回)		公園施設修繕に関する、苦情・要望の解決割合(%)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	95%
1	1	39	37	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	修繕料	10,000,000	9,577,596	財源(割内訳)	国庫支出金		
	工事請負費	1,000,000	885,150		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	11,000,000	10,462,746
合計		11,000,000	10,462,746	合計		11,000,000	10,462,746
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,075,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
改修の必要がある老朽化した公園施設が多い。	適切に維持補修を行うとともに緊急度の高いものから順次改修を実施する。また、安全の確保のためパトロールも実施する。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
事業名	江汐公園管理事業					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続
						臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
江汐公園は、昭和38年に市都市公園として供用開始後、昭和49年より県立公園として本格的な整備が始まった。県立公園部分については、市が県から維持管理業務委託契約を結び維持管理を行ってきたが、平成18年度からは、市が指定管理者の指定を受け指定管理者として適切な維持管理運営を行っていた。	公園利用者が、安全かつ快適に公園を利用できる環境を整備する。	公園施設の維持管理、破損箇所の補修、有料公園施設の受付及び料金徴収、公園内の行為許可、公園内の占用許可。平成25年4月1日から指定管理者制度を導入した。	
活動指標		成果指標	
指定管理への移行		江汐公園利用者数(対前年度比)(人)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
25.04.01移行	25.04.01移行済み	161,125	158,635
			成果指標の到達度(B/A)
			98.5%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,600,000	3,062,041	財源(割内訳)	国庫支出金		
	役務費	553,000	198,905		県支出金		
	委託料	19,855,000	18,468,078		地方債		
					その他	3,712,000	4,060,855
			一般財源		19,296,000	17,668,169	
合計		23,008,000	21,729,024	合計		23,008,000	21,729,024
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	2,965,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
魅力ある企画と適切な維持管理による来園者の満足度向上が課題。		指定管理者との連携	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
	H25.04.01移行済み		
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理			
事業名	有帆緑地建設事業償還金								
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	2	緑地公園費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成13年度から償還を開始し、平成24年度末で1,862,357,065円を償還し、未償還額が1,085,060,068円である。	最終処分場と緑地公園の活用ができる。	平成13年度から平成32年度までの20年で償還する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
		償還額(円)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
		151,461,940	151,461,940	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	151,462,000	151,461,940	財(源割内合訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	151,462,000	151,461,940
合計		151,462,000	151,461,940	合計		151,462,000	151,461,940
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし			
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
事業名	江汐公園イベント事業					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	細目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
江汐公園は、平成18年度より市が指定管理者となった。利用促進を図るためのイベントは、当時の管理委託者であった(財)山陽小野田市施設管理公社が実施していたが、平成20年度末で解散したため平成21年度からは直営で実施している。	江汐公園の利用促進を図る。今後は、指定管理者制度に移行する予定であり、指定管理者のノウハウを活用しサービスの向上、イベントの充実を図る。 天候等の影響もあるがH23のイベント参加者数を上回ることを目標とする。 あじさいまつり900人 アドベンチャーワールド600人 椿まつり6,000人 合計7,500人	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい祭り(6月中旬) ・ザ・アドベンチャーワールド(7月中旬) ・椿まつり(3月下旬) 		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
イベント回数(回)		イベント参加者数(対前年度比)(人)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	111 %
3	3	7,500	8,300	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	150,000	150,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	150,000	150,000
合計		150,000	150,000	合計		150,000	150,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,668,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
なし	
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当 イベント主体は指定管理者に移行した。	C 事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要 指定管理者の業務となったため、市が実施する業務としては休止となる。
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備・管理
事業名	竜王山公園用地管理事業					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規
					会計種別	一般
					予算種別	新規
					予算種別	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
竜王山公園の用地を購入する際、オートキャンプ場周辺及び中腹駐車場内において、場所の特定ができず未買収となっている民有地が存在する。	土地所有者とは本地区の地籍調査に合わせて処理することで合意しており、調査結果に基づいて公園用地として適正に管理する必要がある。	地籍調査の結果、民有地が確定したため公園用地として所有権を本市へと移転登記を行う。 オートキャンプ場周辺の民有地は購入し、中腹駐車場内の民有地は市有地(公園用地)と交換する。 購入：1筆740㎡ 交換：2筆446㎡		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
用地取得面積(㎡)		用地取得率取得面積(%)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100
1,186	1,186	100(%)	100(%)	
%				

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	用地取得費	2,267,000	2,265,739	財源(割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	2,267,000	2,265,739
合計		2,267,000	2,265,739	合計		2,267,000	2,265,739
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策
なし				
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)		
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要	
	事業終了		終了	
その他				

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	2	緑地の保全
事業名	松くい虫防除事業					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市が管理する都市公園の糸根地区公園は、かつて「糸根の松原」と呼ばれる砂浜で、園内の松の大木は市文化財に指定されている。中には樹齢100年を超える大木も見られる。松枯れの原因であるマツノザイセンチュウはマダラカミキリを介して松の樹幹に進入して松を枯らす。これを防ぐ方法は、薬剤の空中散布か薬剤を注入して進入するセンチュウを殺す予防接種しかない。	公園・緑地の保全を目的として、糸根地区公園の松を貴重な遺産として後世に伝える。	適切なサイクルで松に樹幹注入を実施し、松枯れを防止する。	
活動指標		成果指標	
注入木本数(本)		生存松の本数(本)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
30	30	121	118
98 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	693,000	489,510	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		100	693,000	489,510
合計		693,000	489,510	合計		693,000	489,510
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,779,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	9	誰もが快適に暮らせるまちづくり	2	公園・緑地の整備・保全	3	緑化の推進
事業名	都市緑化推進事業					
予算費目	款	8	土木費	項	5	都市計画費
	目	1	緑地公園費	細々目	1	緑地公園一般管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務		(都市緑地法)		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
山陽小野田市緑化推進協議会の活動である都市緑化祭や希望の森植樹祭などの開催支援を行い、都市緑化推進事業を行う。	都市緑化の推進を行い、環境整備を図る。	山陽小野田市緑化推進協議会の活動である都市緑化祭や希望の森植樹祭の開催支援を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
植樹の本数及び苗木の配布数(対前年度比)(本)		緑化推進協議会の加入者件数(対前年度比)(件)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	99%
2,294	2,304	16,059	15,863	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	95,000	90,000	財源(割内訳)	国庫支出金		
	負担金補助及び交付金	160,000	160,000		県支出金		
					地方債		
					その他		
合計		255,000	250,000	一般財源	100	255,000	250,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.4	2,372,000	255,000 250,000			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
毎年度継続実施している事業がほとんどであり、目新しさが無いことから、今以上の市民の認知と理解を得る状況にない。	理事会で出された意見や提案を積極的に検討したい。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	